

安永の曳山騒動

- 城端を代表して入牢した 七代 小原治五右衛門 (1729 - 1805) -
治五右衛門 News Letter Vol.03

「安永5年(1776)、小原家に正月はなかった。」

私が小学生の頃、祖父である十四代 小原治五右衛門が、江戸中期の安永年間(1772 - 1781)に、越中国で曳山を巡り、大騒動があったことを話してくれました。

安永2年(1773)、新湊 放生津の曳山を高岡の職人へ修理を依頼したことが曳山騒動の始まりです。放生津の曳山を見た高岡の曳山総代が、これは高岡の御車山に似せた大八車であると抗議し、これを差し押さえました。高岡の御車山は、天正16年(1588) 豊臣秀吉が御陽正天皇と正親町上皇を京都の聚楽第(じゅらくだい)にお迎えするときに使用した車を、加賀藩初代藩主である前田利家が秀吉より拝領し、二代藩主 前田利長公が慶長14年(1609)、高岡城を築く際に高岡町民に与えた前田利長公拝領の由緒ある車で、高岡だけに許されたものであるから他の町では同じ車を持つことは許されないことであるとして、寺社奉行に差し止めを申し出たのです。今石動の曳山、そして城端の曳山に対しても取り止めるよう紙面で申し入れがありました。城端ではこの申し入れに猛抗議。放生津と今石動も同様の抗議を行ないました。その後、騒動は更に膨らみ、高岡奉行所はこれを鎮めることが出来ず、魚津の盗賊改方役所にて詮議することになりました。

安永4年(1775)12月14日、城端からは七代 小原治五右衛門、谷屋吉兵衛、小坂屋理助の三人の組合頭と大工の小平次と佐右衛門、荒木和助、大桑屋豊右衛門(老衰のため息子の甚四郎が代理)の7名が出頭を命ぜられました。そこで、今石動、放生津、城端の祭礼の始まりや、曳山を制作した責任者、騒動を起こした指導者も吟味し、厳重に取り調べ尋問することになりました。その取り調べは、拷問によって一人が責め殺されたほどであったと言います。詮議の結果、高岡の御車山は格別のものであり、他の町ではそれと同じものは勿論、似ているだけでも一切認めないと言う申し渡しがありました。

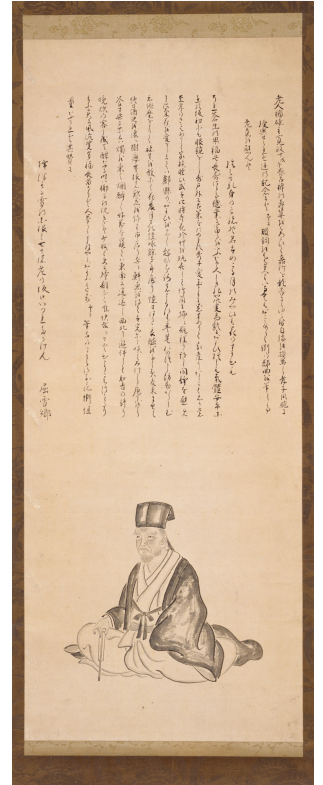
七代 小原治五右衛門は、「城端は大八車はもちろん、それに似寄った車も作っていない。私が責任者として詮議を受ける。」と主張。安永5年(1776)1月24日、谷屋吉兵衛、小坂屋理助、荒木和助、小平次、大桑屋甚四郎は釈放されましたが、佐右衛門は傷寒を患い、帰郷するも死去。七代 小原治五右衛門は、全責任を申し出て入牢することになりました。

結果、高岡の主張が通り、放生津は大八車から板車に変更、今石動は曳山祭の中止(現在は再開)、城端は曳山祭の歴史が古いので祭りは許可されましたが、放生津同様、車輪には規制がかけられました。

安永5年(1776)6月1日、七代 小原治五右衛門は、半年間の入牢から無事放免されました。城端を代表し、身を挺して尽力した豪気な一面は、多くの人に感動を与えました。

出丸町には今も延命地蔵があります。出頭の日、北野のかまてん坂まで一行を見送った大桑屋豊右衛門は、かまてん坂に7名の安泰無事を祈願し地蔵尊を建立しました。雪の降りしきる12月～1月の寒い時期にもかかわらず、城端の人達は毎日地蔵尊に参詣し、延命祈願の列が続いたと言います。その後、かまてん坂の地蔵尊は三体となり、城端三地蔵と呼ばれて親しまれました。明治25年(1892)、延命地蔵は北野から現在の出丸坂へ移動しました。

また、七代 小原治五右衛門の辞世の句「蓮の実やこゝを去ること遠からず」は水月公園に「蓮子塚」として現存しており、父を敬愛した八代 小原治五右衛門(一白)が文化9年(1812)に石碑を建立して以来、代々の治五右衛門が、その感謝と祈りを捧げております。



七代 小原治五右衛門稀雄 自画像
寛政10年(1798)
南砺市指定文化財



延命地蔵 出丸坂



蓮子塚 水月公園

【参考文献】
城端曳山史 (城端曳山史編集委員会 編)
端唄の流れる里 - 城端曳山祭と庵唄 (金子千彰・細川健太郎 著)
加越能の曳山祭 (宇野通 著)

十六代 小原治五右衛門

第63回 日本伝統工芸富山展 富山県知事賞 受賞

第63回 日本伝統工芸富山展で、Pythonシリーズ8作目となる『治五右衛門塗中次「曙光 - Python VIII」』が、富山県知事賞を受賞しました。展覧会は6月2日まで、高岡市美術館で開催されています。

会期：令和6年5月24日(金)～6月2日(日)

会場：高岡市美術館 (富山県高岡市中川1-1-30)

時間：9:30 - 17:00 (入場は16:30まで)



治五右衛門塗中次「曙光 - Python VIII」 十六代 小原治五右衛門



ダイドールグループ 日本の祭り 2024

「庵の音～301年目の城端曳山祭～」

放送日時：2024年6月8日(土) 15:30～16:30

【放送】チューリップテレビ / BS12 / BSよしもと

【WEB】日本の祭り特設ホームページ / YouTube

祭に携わる人々を追ったドキュメンタリー番組です。今年、城端曳山祭が全国放送されます。奥深い歴史と文化、城端人の祭にかける情熱をご覧ください。

Messages from Friends

治五右衛門君の作品は、模様の繊細な描写と造形美だけではなく、器物の厚み以上に深みがあります。彼の展覧会で初めて現物を観た時、写真では伝わらない、その果てしなく奥深くまで吸い込まれていく漆が生み出すレイヤーに心から感動しました。城端蒔絵の作品と同様に、城端で観た曳山も、表面からは見えない下地の一層一層を丁寧に仕上げているからこそ何百年も残っていることを教えてくれました。歴代治五右衛門の魂の積み重ねは「今を生きる」十六代 小原治五右衛門の生き様であり、それが彼の作品に投影されていると感じました。世界中の方々に作品を見ていただき、その深みを感じて欲しいです。私は音楽を通して人の心に届く曲を作りたい、そして心で歌いたいと活動しています。一つの作品が完成するまでにはさまざまな工程があり、そして、多様な視点から物事を捉えて、表面からは見えない所までこだわります。傍から見ると無駄と思われる部分も、作品が完成するまでには私にとって大切な工程の一つです。治五右衛門君とお互いの作品作りの話をすると、いつもやる気に満ち溢れます。それはきっと共通する部分がたくさんあり、悩みも喜びも分かち合えるからだと思います。真っ直ぐに感性を高め合える親友がいることが幸せです。いつもありがとう。

Yoshiko"yoppi"



歌手

Yoshiko"yoppi"

NY在住の歌手。音楽教室Yoppimusic(米国)代表。大学時代にスカウトされ、2000年より都内のジャズクラブで歌手活動をスタートする。2008年よりNYに移住し、以降シンガーソングライター、ゴスペルシンガーとして日米でライブ活動を行う。2023年の最新アルバム"bubbles"では、日常の些細な感情について深く考察し、日本を代表するトップミュージシャン達と共に全曲作詞作曲を手掛けたオリジナル作品を発表。ハイアット セントリック 銀座 東京で開催された「十六代 小原治五右衛門 襲名記念展」の祝賀会でも演奏した。

<http://www.yoppimusic.com>



OHARA Jigoemon XVI

- Johana Makie -

令和6年(2024)

【 活動報告 】

- 5月4日(火) 城端曳山祭 (宵祭)
- 5月5日(土) 城端曳山祭 (本祭)
- 5月8日(水) 城端教育振興会 常任理事会
- 5月16日(木) 理事会
- 5月19日(日) 理事会・北日本新聞創刊140周年記念茶会
- 5月20日(月) 小原治五右衛門後援会 役員会
- 5月24日(金) 第63回 日本伝統工芸富山展 開会式
- 5月26日(日) 東下町「東耀山」解体作業
- 5月30日(月) 第63回 日本伝統工芸富山展 表彰式
- 5月30日(木) 城端教育振興会 総会

令和6年度能登半島地震で被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます。
被災地ではまだ不安な日々をお過ごしのことと拝察いたします。
1日も早い安心の暮らしの蘇りに結ばれますよう祈念いたします。

〒939-1865 富山県南砺市城端4316-1

Tel / Fax: 0763-62-1156

E-mail: info@jigoemon.com



<https://www.jigoemon.com>